

ボーリング柱状図

調査名 _____

ボーリングNO.																						
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 _____

シートNO. _____

ボーリング名	BRG No.1		調査位置			北緯	36° 52' 33.3500"						
発注機関	栃木県日光土木事務所				調査期間	2008-12-20 ~ 2009-01-06		東経	139° 31' 08.6000"				
調査業者名	主任技師				現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者					
孔口標高	1040.00 m	角度			地盤勾配			使用機種	試錐機		ハンマー	落下用具	
総掘進長	9.00 m							エンジン			ポンプ		

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m)	標準貫入試験					原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)	試験名および結果					深度 (m)	試料番号
				盛土 (BS)	暗灰			アスファルトt=20cm。深度0.20m以深は径10-150mm程度の角礫・岩砕による盛土。													
1038.70	1.30	1.30		玉石混じり礫 (G-B)				掘進長5-55cm程度、推定礫径10-90cm程度の粗石・巨石(岩砕)が主体。隙間が大きく、所々に空洞を介在する。デイサイト質で硬質な岩砕が主体。深度1.45m付近から掘進長55cm程度の巨石が介在する。SPTサンブラーは礫の隙間に貫入する。深度5.65m-6.00m付近の隙間にセメントが充填する。			1.15	7	30	13	50	1	21				
					灰						2.15	4	2	2	8	30					
											3.15	5	3	2	42	50	22				
											4.15	1	17	1	1	3	31				
											5.15	1	31		1	31					
1033.50	5.20	6.50		玉石混じり砂礫 (GS-B)	褐灰			掘進長5-10cm(推定礫径)10-15cm内外の粗石が混じる。角礫主体。マトリックスは細粒分が混じる。			6.50	00	50	00	50						
1032.90	0.60	7.10		デイサイト (Da)	暗灰			中硬質な片状-短柱状コアが主体のデイサイト。岩片は概ね新鮮で、割目はやや風化する。割目間5-20cm程度。角度5-20度の密着の良い割目が発達し、直行する急角度の割目はマザ状の風化物を挟む。			7.05	50	50	50	10						
											8.00	50	0	50	0						
1031.00	1.90	9.00									9.00	50	0	50	0						
											01/06	9.00	50	0	50	0					